

# これからの学校と地域



ふれあい学習課

### 令和2年度 船生小学校区地域連携研修会、開催！

#### 1 これからの学校と地域に必要なこと

社会の急激な変化に伴い、学校と地域双方に課題が生じています（資料①参照）。その変化や課題に対応するため求められることは、大きく2つあります。

1つは、学校だけでは得られないことから生き抜く力を子どもたちが身に付けること。もう1つは、地域住民が自ら地域を創っていくという意識に転換することです。

では、どうすればこの2つを達成できるのでしょうか。学校だけが頑張っただけではだめです。地域だけが地域を盛り上げようとしてもだめです。現在考えられる最も有効な手段は「学校と地域が連携・協働すること」でしょう。その連携・協働の具体的な1つの形が『地域学校協働活動』と言われるものです。

#### 2 地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。まためると、地域住民等と学校が一緒になってつくり出す「子どもを育成する活動」ということになります。

放課後に学習活動や体験活動を行いながら子どもたちの居場所づくりを行う「放課後子ども教室」や休日に子どもたちの学習をサポートする「地域未来塾」、学校内外での奉仕活動や自然体験活動など、全国各地でそれぞれの地域の特色を生かした活動が展開されています。

これらの活動は、子どもたちが生活する学校を中心として、様々な地域住民等のゆるやかなつながりと参画によって始めて機能していきます。

#### 資料① それぞれの課題

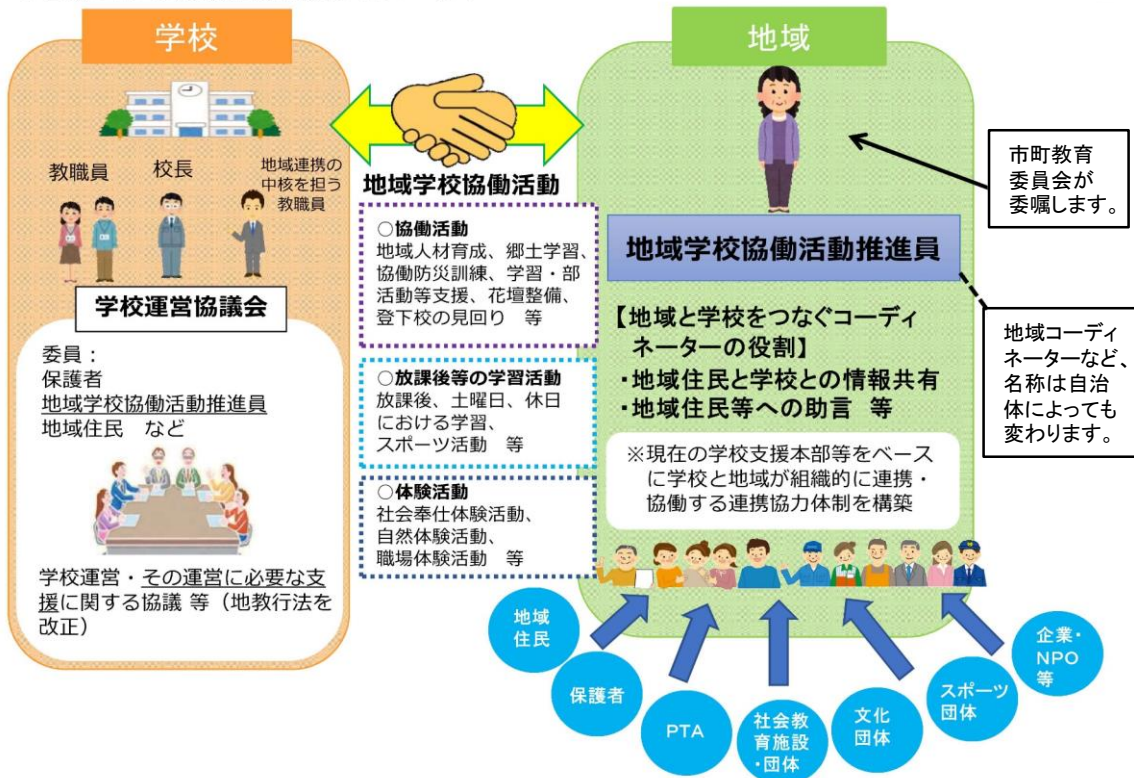
##### 【学校】

- ・不登校児童生徒の増加
- ・特別な配慮が必要な児童生徒の増加
- ・保護者への対応
- ・児童生徒数の減少など

##### 【地域】

- ・核家族化
- ・ライフスタイルの多様化
- ・地域の支え合いやつながりの希薄化
- ・地域教育力の低下など

#### <地域と学校の協働体制のイメージ> 資料②



#### 3 地域学校協働活動の要、地域学校協働本部

左に示した資料②は、地域と学校の協働体制のイメージです。今までは、地域から学校への一方の支援でした。しかし、これからは地域と学校がパートナーとなり、双方

向の連携・協働が大切になってきます。塩谷町は、地域教育力活性化本部を設置し、学校支援に重点をおいてきました。地は十分にできています。

さて、協働活動を進めていくためには組織が必要になります。資料②の「地域」という言葉を「地域学校協働本部」と置きかえれば、そのための必要な組織となります。地域学校協働本部は地域学校協働活動を推進するための要となります。

地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターを中心に、地域の様々な方とつながりをつくり、学校支援にとどまらず地域づくりに貢献するのが地域学校協働活動の魅力と言えるでしょう。そのためにも、学校と地域が本音で話し合い、それぞれの思いや考えを共有する場が必要となります。

その上で、学校、地域それぞれの強みを生かしながらお互いを活用し合える存在となれば、こんなに頼もしいパートナーはいないでしょう。（裏面につづく）



去る8月19日、船生小学校ランチルームにおいて「船生小学校区地域連携研修会」が開催されました。

本研修会の目的は2つあります。一つは「地域と学校が互いの思いを共有し、協働体制を構築する機会とすること」です。学校と地域の連携・協働は「言うは易く行うは難し」です。連携・協働という言葉は聞こえが良く大変便利な言葉ですが、決して一朝一夕に成るものではありません。それを現実とする第一歩は、両者の思いを共有・確認することに尽きます。

もう一つは「塩谷町地域学校協働本部船生支部の組織化」です。塩谷町はすでに学校支援を町ぐるみで実践してきました。それをさらに進化させ、「学校を核とした地域づくり」を目的とした「地域学校協働本部」の設置を進めています。さらに、各地区の特色を生かすため、支

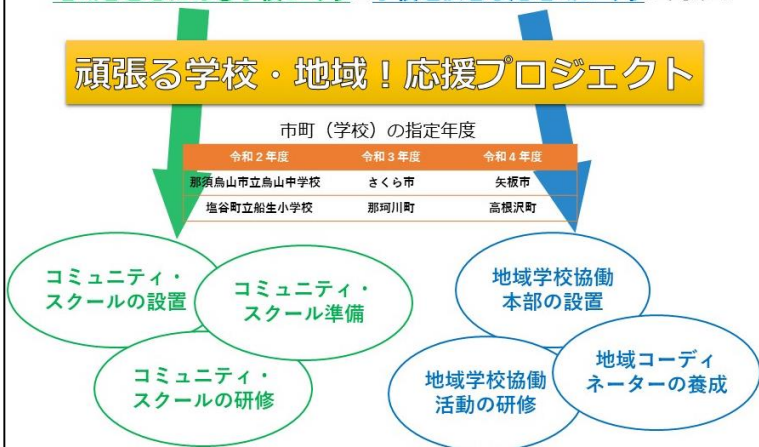


講話を行う宇都宮大学・若園雄志郎准教授

部の組織づくりも進めています。本研修会には、その中心となっていたたくさんの方々が集まりました。研修会では、「船生子どもたちを考えよう」というワークショップをおし、地域と学校の子どもたちに対する思いのズレを確認し、その上でどのような子どもたちに育ってほしいかを考えました。さらに、地域連携マイスターとして御指導いただいている宇都宮大学地域デザイン科学部の若園雄志郎准教授から講話をいただきました。地域の方々の大きな力を感じた研修会となりました。

資料③ 栃木県教育委員会としての取組

地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりに向けて



栃木県教育委員会は学校と地域の連携協働体制づくりを支援するため、今年度新たな事業をスタートさせました。事業名は「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」といいます。船生小学校をモデル校に指定し、船生小学校と地域の取組を支援していきます。前述の研修会も、本プロジェクトの一環として、塩谷町教育委員会と連携しながら実施しました。上図資料③において、現在塩谷町に対しては「学校を核とした地域づくり」を中心とした支援を進めています。

6 2回目の地域連携研修会の開催に向けて

今回の研修会では、「船生地区の子どもたちに育ってほしい姿」を考えていただきました。第2回の研修会では、育ってほしい姿にアプローチするための具体的な手段を考えていただく予定になっています。子どもたちのために、学校と地域がパートナーとしてどのように動くのか、今回の研修会でより明確になっていくことでしょう。

